

おわりに

最後に、モデレーターをさせていただいた立場から、一言記させていただきます。

自分がこの役割をいただいた時、最初に意識したのは、誰が主役なのか、ということでした。もちろん主役はパネリストのみなさんであり、シブパネルにおいて最も大切なのはパネリストの方のお話だと思います。モデレーターは、あくまでお話をつなぐのが役割であり、気の利いたコメントを返そうとか、ましてやパネリストのお話をまとめようとしたり、前面に出るべきではありません。それを肝に銘じておかねば、と思って臨みました。

シブパネルの開催を考えてくださる方は、きょうだいさんたちを応援し、大切に思ってくださいていることでしょう。なので、パネリストさんが見つかったお話をしてくださった時には、「こんなことを訊いてしまって申し訳ない」「自分にこんな質問をする資格があるのだろうか」と葛藤することがあるかもしれません。でも、パネリストの方々は、きっとあなたを信頼して、勇気をもってこの場に臨んでくださっています。それに報いることができるのは、お話を大切に聴かせてもらう以外になく、それこそが心を守る安心安全な場づくりにつながっていきます。

聴きに来てくださる方々も時に涙されますが、その涙や頷きは、大切に受け止めたいというメッセージとなり、パネリストの心を守る一助になると信じます。そうやって、勇気をもって大切な人生を語ってくれるパネリスト、その心を全力で守ろうとする主催者、そのお話を誠意をもって受け止め、支援につなげていく聴衆の三者がひとつのチームになれば、安心安全なシブパネルが作り上げられることと思います。

モデレーターとしてパネリストに質問を投げかける時、返ってくるのはいつも信頼の眼差しでした。会場を見渡すと、そこは常に誠意と熱意と優しさで満ちていました。まだまだ課題もたくさんありますが、みなさまと共に、互いへの誠意と信頼を積み重ねて、更なる安心安全の場を目指していけたら幸いです。

きょうだいの声から学ぶシブパネル 開催のためのガイドライン（暫定版）

2020年12月 第1版発行
編集・発行：NPO法人しぶたね @Sibtane 2020
本ガイドラインの転載・複製はご遠慮ください

<https://sibtane.com/>

